

倒れにくく、マメ科に負けない！ チモシー「北見30号」

概要 Abstract

チモシーは、北海道草地56万haの8割を占め、最も栽培されている牧草。

しかし、チモシーの従来品種には欠点が・・・。

倒伏しやすい。 -----> 品質の低下、蒸れて裸地が発生。

再生が劣り、混播するマメ科牧草や雑草に負けやすい。 -----> チモシーが消え、雑草と裸地が発生。

中生の早の「北見30号」は、多収で、倒伏に強く、マメ科牧草に負けない！ **粗飼料の生産性向上に大きく貢献！！**



写真1. 「北見30号」の草姿

成果 Results

「北見30号」の特に優れている点

1. 収量が多い

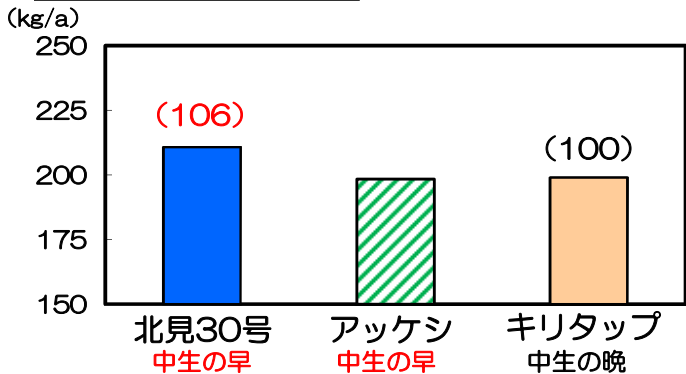


図1. 2か年合計乾物収量 (kg/a)
() 内は「アッケシ」対比の指数。5試験場所平均。

2. 倒伏に強い



写真2. 1番草の倒伏状況

3. マメ科牧草に負けない

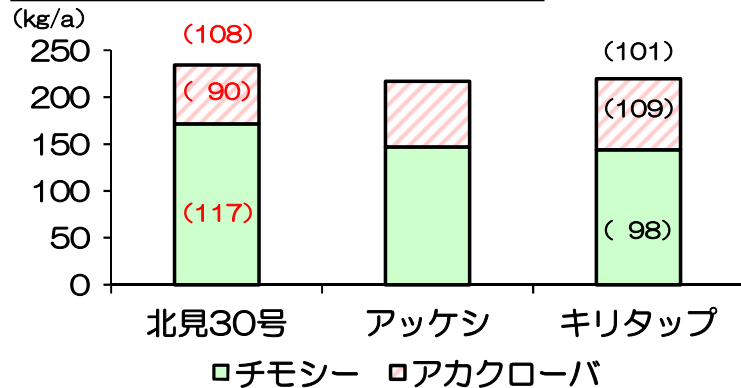


図2. アカクローバ混播の2か年合計乾物収量 (kg/a)
() 内は「アッケシ」対比の指数。北見農試。

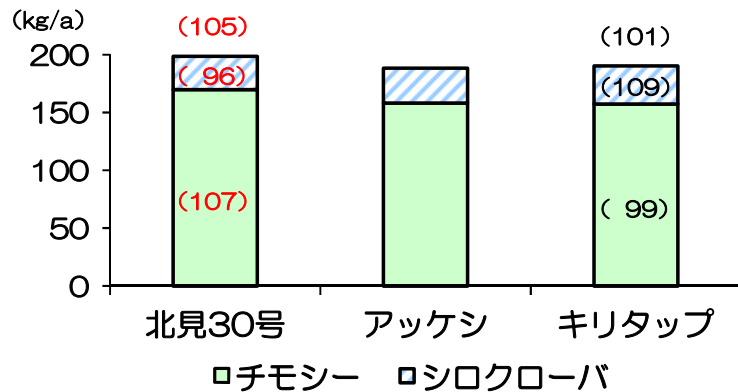


図3. シロクローバ混播の2か年合計乾物収量 (kg/a)
() 内は「アッケシ」対比の指数。北見農試。

普及 Dissemination

適応地域：北海道全域とし、中生の早の「アッケシ」と置き換える。
普及見込み面積：40,000ha。
栽培利用上の留意点：年間2回の採草利用を主体とする。耐倒伏性に優れるが、適期刈りを基本とする。

連絡先 Contact

北見農業試験場
研究部 作物育種グループ
0157-47-2146
kitami-agri@hro.or.jp